

【山崎主宰の俳句】

反戦歌

山崎 聰

こころ熱き人と菩提樹の花の下  
蜷の道反戦の歌聞こえたような  
詩人数人極道もいて花ミモザ  
人形にかこまれている夏の昼  
還るべき山河に遠く夏至の雨  
西口で蝉が共謀しておりぬ  
熱帯夜金の鞍なら跨って  
八月十五日流れの中をたふたと  
肉食の鳥のくちばし大暑かな  
山の蛾のもう逃げ果せるころか